

事務連絡  
平成 27 年 4 月 14 日

各部署等の長 殿

施設・環境計画室長  
三 上 隆

札幌キャンパス内における駆虫薬散布（エキノコックス症対策）について

日頃より、構内におけるキタキツネの目撃情報等について、ご協力頂きありがとうございます。  
昨年度より頂きました情報をもとにキタキツネの糞の採取や野ネズミの捕獲を行い、キタキツネのエキノコックス感染状況を調査した結果、札幌キャンパス内に生息するキタキツネの糞からエキノコックスの虫卵が検出されました。今年度も引き続きキタキツネのエキノコックス症対策として下記のとおり駆虫薬（ベイトに含む）を散布することにし、駆虫薬散布後もキツネの糞およびネズミの陽性率をモニタリングしていきます。

札幌キャンパス内におけるエキノコックス症に係るリスク軽減に向けた対策ですので、ご協力をよろしくお願いします。

記

【散布範囲】

駆虫薬（ベイト）を札幌キャンパス内 100m×100m メッシュに 1 個の割合で散布します。  
キツネが食べることをねらったものであり、キャンパス内に満遍なく散布します。

【散布開始時期】

平成 27 年 5 月中旬から 11 月末までを予定しています。

【その他】

- ・キツネのフン虫卵検査も実施していますので、キツネのフンと思しきものを見つけた場合、研究室まで情報提供願います。
- ・メインストリートなどイヌの散歩が想定される場所では、なるべく少し離れた場所に散布するようにします。万一口やネコが食しても毒性はありません（駆虫されます）。
- ・たいへん苦いものですので、子どもさんが口にすることは無いと思います。万一口にしても毒性はありません。
- ・駆虫薬（ベイト）は、消失率をチェックしています。万一見つけても放置して下さい。チェック用に目印（ピンクテープ）を付ける場合があります。
- ・農場には予め散布しない方がいい場所を伺っていますので、その場所には散布いたしません。

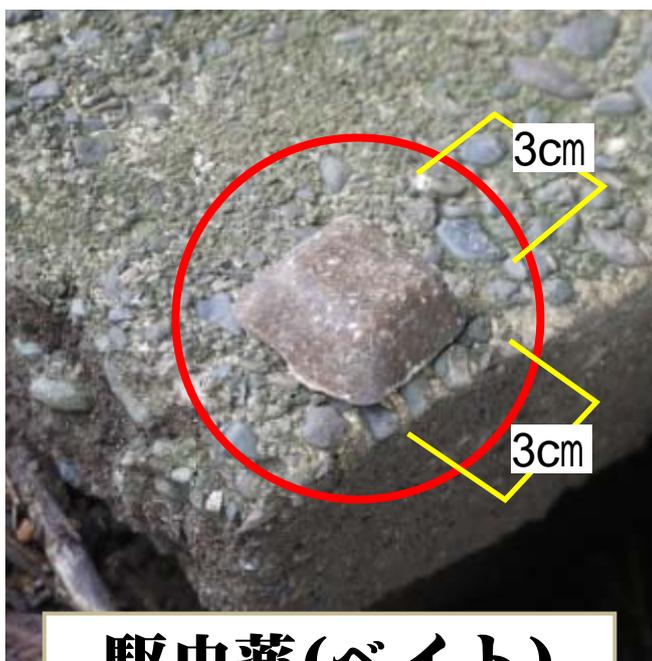
■本件についての問合せ

獣医学研究科野生動物学教室 坪田敏男教授 (内) 5 1 0 1  
施設部環境配慮促進課 環境保全担当 (内) 2 1 3 7

## 構内において駆虫薬（ベイト）を散布中です

エキノコックス症に係るリスク軽減に向けた対策ですので、下記の点に留意されご協力方よろしくお願いします。

- ・メインストリートなどイヌの散歩が想定される場所では、なるべく少し離れた場所に散布するようにします。万一イヌやネコが食しても毒性はありません（駆虫されます）。
- ・たいへん苦いものですので、子どもさんが口にすることは無いと思います。万一口にしても毒性はありません。
- ・駆虫薬（ベイト）は、消失率をチェックしています。万一見つけても放置して下さい。チェック用に目印（ピンクテープ）を付ける場合があります。



**駆虫薬（ベイト）**

サイズ（3cm x 3cm 程度）